

見晴台からの 広谷湿原

2021年6月19日

先日、テレビをつけると見覚えのある風景が目に入った。それはNHKのニュースで平尾台が紹介されているところだった。放送では「平尾台の中で苅田町に位置する県内唯一の湿原、広谷湿原ではノハナショウブがあちこちで赤紫色の花を咲かせています。……今月いっぱいが見頃だということです。」との内容だった。それを見て早速、3日後の土曜日に足を運んでみた。



広谷湿原にノハナショウブが揺れる

<コース概要>

1、見晴台 11時17分 ～ 2、不動山 ～ 3、堂金山 ～ 4、茶ヶ床園地～ 5、中峠 ～
6、広谷湿原 ～ 7、中峠 ～ 8、茶ヶ床園地 ～ 9、見晴台 15時35分

全行程 4時間18分

本文中に記載している内容は、実際に歩いたコースと時間です。
休憩時間等、全て含んでいます。



1、見晴台 11時 17分 スタート

今日の主目標は広谷湿原のノハナショウブ。
3日前のNHKニュースを見て、その気になっ
てやってきた。朝まで降っていた雨も上が
り、お天気も昼から回復傾向なので、不動山
や堂金山の花散策も兼ねて、のんびり見晴
台からスタートすることにした。見晴台には
一台も車が停まっていなかった。



見晴台駐車スペース右端の柵の切れ間から



柵が途切れた所から左へ 11時18分



緑が濃くなった不動山への登山道 11時21分 道が草で隠れ気味



ウツボグサ



オカトラノオ



綿毛のようなこれは何？



ノイバラ



カキラン





ウツボグサの群生にビックリ(**) 11時37分



不動山へ 11時41分 稜線に出て右へ



ヒメジオオン



岩の上に鳥がとまった

左の写真を拡大してみると...



雲雀(ヒバリ)だった！



2、不動山 11時43分 404m

とても残念なことに、山頂碑がない！
前回ここに来たのは5月29日だったが、その時も山頂碑がなかった。
やっぱり山頂には山頂碑が欲しい。
仕方ないので岩を山頂碑に見立てて、背後にある南尾根の天狗岩と共に証拠写真を撮った。次回に期待！



次は不動山から堂金山へ 11時46分



ニワゼキショウ



ソクシンラン(終期)



サルトリイバラ



堂金山もあと少し 11時57分



ノイバラの蜜を吸う小さなコガネムシ

	3、堂金山 12時00分 404m 堂金山も山頂碑がなかった。 電信柱の横にある2本の石柱を山頂とする。  暫定の山頂碑
---	---



堂金山から車道へ下る 12時01分 車道沿いにある大きな木まで一本道

 クララ	 もうすぐ車道(大きな木) 12時07分
--	---



堂金山への分岐 12時07分 右へ



草に隠れてしまいそうだ



貝殻山手前まで車道歩きとなる



コウゾリナ



ミヤコグサ



茶ヶ床園地への分岐 12時15分 左へ



茶ヶ床園地は貝殻山と反対方向



新設された道標



かがり火盆地を見下ろす 12時19分



右を見上げれば綺麗な雲 12時20分



平坦な登山道を10分も歩けば...



茶ヶ床園地近くの車道に出る 12時29分



4、茶ヶ床園地 12時31分

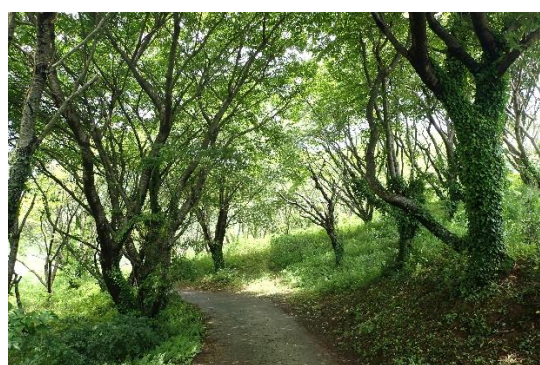
駐車場は満車。登山者以外の観光客も多く、
相変わらず人気の高い駐車場だ！



ベンチで休憩



休憩後トイレの横から左へ進む 12時35分



ひんやりとした林の中は気持ちがいい



進入禁止のゲートを越え



車道を歩く 12時43分



権現山を見上げると、空にはうろこ雲



ムラサキツメクサ



中峠はもうすぐだ 12時51分



5、中峠 12時56分 直進



ここは標高479m



更に歩を進めると 13時01分



右手に広谷湿原が広がる 13時06分



広谷湿原への分岐 13時09分 右へ



広谷湿原の先には滝不動や青龍窟がある



真っ直ぐ下って行く 13時10分



分岐は直進 13時12分 一周すると右から



説明プレート



町指定天然記念物 広谷湿原

この周辺を含む広谷湿原一帯は、町の天然記念物に指定されています。大切な自然を後世に残すために、次の行為は法律で原則禁止されています。

- 湿原内に立ち入ること
- 土石を採ること
- 焚き火をすること
- 植物や動物(野鳥、昆虫)を採ること
- 植物を植えること・種をまくこと
- 土地形状を変更すること
- その他自然に影響を与える行為

苅田町教育委員会

<プレートより>

ロープを辿って進んで行くと、湿原の中心部に到着。(ロープ内は立入り禁止)



6、広谷湿原 13時16分



ノハハショウブがあちこちに咲いてる



プレートは色が褪せて読みにくい

広谷湿原について

広谷湿原は、カルスト台地にある貴重な湿原であり、サギソウ、トキソウ、ノハハショウブなどの湿原性の植物が見つかりますが、心ない人々の採取や踏み荒らしが絶えず、貴重な湿原性植物も絶滅の危機にさらされています。私たち一人ひとりが自然保護のこころを十分理解して、この貴重な自然を守りましょう。

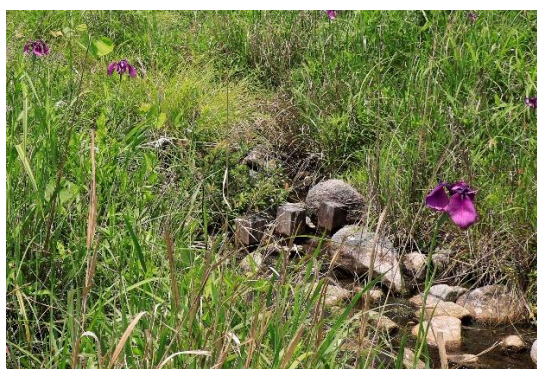
<プレートより>



湿原を一周 13時20分

ロープに沿って歩いて行くと、小さな流れを越える。湿原の澄んだ水辺にはたくさんのノハナショウブが咲いていた。しかしながら、遠目に観賞することは出来るが、殆どのノハナショウブはロープに阻まれて近づくことが出来ない。望遠レンズを持っていないと撮影は困難だ。

この後、湿原を一周するなど、周辺をウロウロと散策。



水辺に咲くノハナショウブ



ロープ沿いのルートは草茫々



ノハナショウブは湿地や水辺を好んで自生するアヤメ科の植物で、ハナショウブの原種。



カキラン



ヤマツツジ



ヤマツツジと周防台



広谷湿原への分岐 13時54分

湿原散策も終了。分岐に戻り帰路に就く。

トキソウに会えずガッカリ(悲)



車道をのんびり



周防台を左に見ながら 14時00分 ハート♡マークが斜面に浮かび上がる



7、中峠 14時06分 直進



緑濃きライオン岩



急カーブを曲がった先の 14時12分



右側の柵の切れ間から入る 14時14分



太い鉄管を跨いで進む 14時16分 正面は茶ヶ床園地



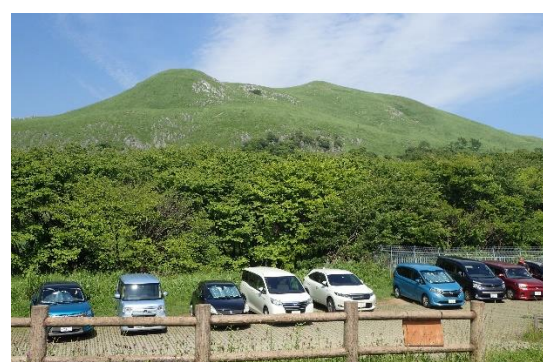
農道に出て左へ 14時24分



8、茶ヶ床園地 14時26分



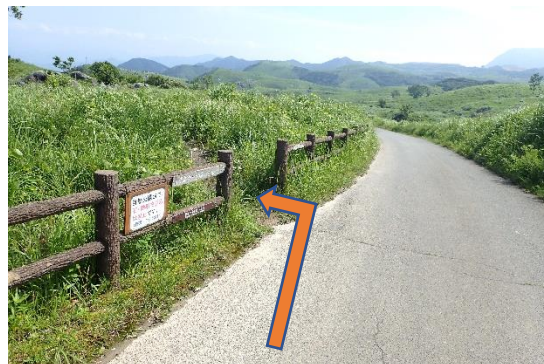
東屋で休憩。のんびり🍵タイム



満車の駐車場。背景は権現山と周防台



休憩を終え見晴台へ 15時01分



かがり火盆地への分岐 15時02分 左へ



カキラン



花散策しながら



かがり火盆地を見下ろす 15時17分



貝殻山が正面に 15時22分



車道に降りて右へ 15時23分



堂金山への分岐を通過 15時27分 大きな木の正面が分岐となる



見晴台手前で振り返ると標識が新品に

9、見晴台 15時35分 ゴール

今日の花散策の所要時間は4時間18分。スマホの歩数計を見ると、12935歩だった。

今日はノハナショウブやカキランに出会えて満足だったが、
トキソウを見つけることが出来ずに残念だった。もう花期が過ぎたのか？
お疲れ様でした。